

# 小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和7年10～12月期)

**延岡商工会議所／中小企業相談所**

**延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階**

**TEL 0982(33)6666**

**FAX 0982(33)6682**

## I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	54事業所
3. 回答率	43.2%
4. 業種別内訳	
製造業	9事業所
建設業	4事業所
卸売業	3事業所
小売業	21事業所
サービス業	17事業所
合計	54事業所

### 5. 実施時期

令和8年 1月上旬～2月下旬

### 6. 調査対象期間

令和7年 10月から12月（第3四半期）

### 7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

#### ※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

### 8. 調査方法

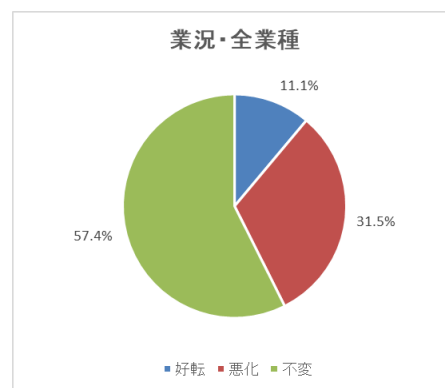
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

## Ⅱ. 概況

### 1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和6年10月～12月）のDI値は▲20.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は11.1%、悪化したと回答した事業所が31.5%、変わらないと回答した事業所は57.4%だった。



令和6年10～12月の前年同期比について、売上の増減に関わらず、仕入価格の高騰が課題となっている。人手不足が影響しているという声も多く上がっている。また、採算や資金繰りが悪化しているという回答も多い。

	R6. 10～12 前年同期比	R7. 7～9 前期比	R8. 1～3 見通し
全業種	▲20.4	▲20.4	▲27.8
製造業	▲11.1	▲11.1	▲22.2
建設業	▲50.0	▲50.0	▲25.0
卸売業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
小売業	▲23.8	▲19.0	▲28.6
サービス業	▲11.8	▲17.6	▲29.4

来期見通し（令和7年10～12月）のDI値については、▲27.8ポイント。

全ての業種、悪化の見込み。

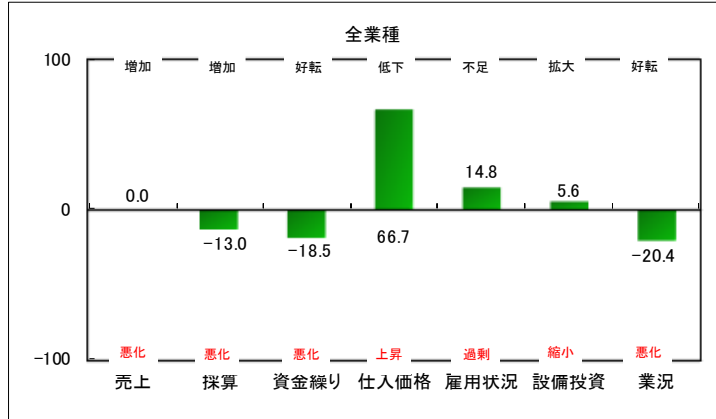
各業種で、仕入価格・人件費の上昇・人手不足が変わらず、見通しが立たないことへの不安を吐露している。前期調査より、DI値が低下しており、資金繰りに不安を抱えている声が多くみられた。

一部、客単価が上がっているなどの影響で、好転を見込む回答もあった。

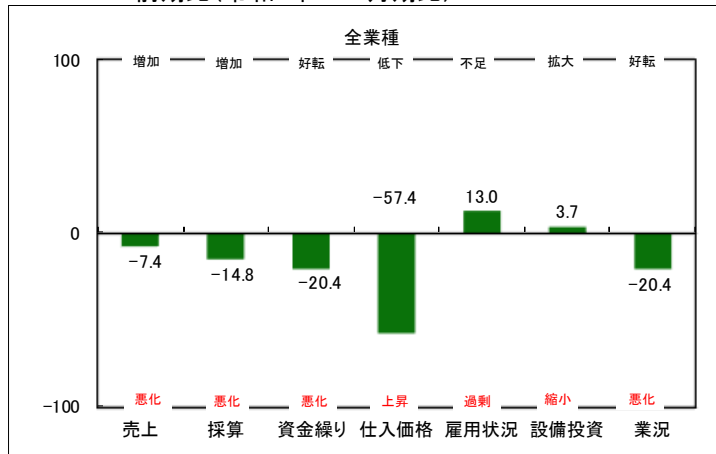
## 市内景気動向

### 全業種

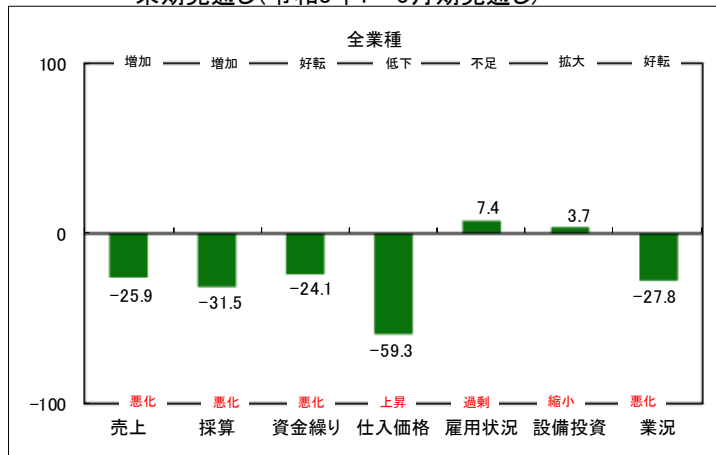
前年同期比(令和6年10~12月期比)



前期比(令和7年7~9月期比)



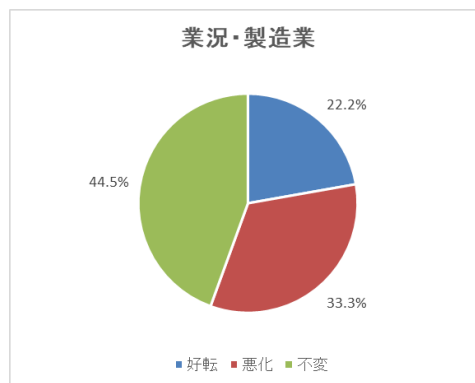
来期見通し(令和8年1~3月期見通し)



## 2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲11.1ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、22.2%、  
悪化したと回答した事業所が33.3%、  
変わらないと回答した事業所が44.5%だった。



来期見通しD I 値については▲22.2ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【看板業】

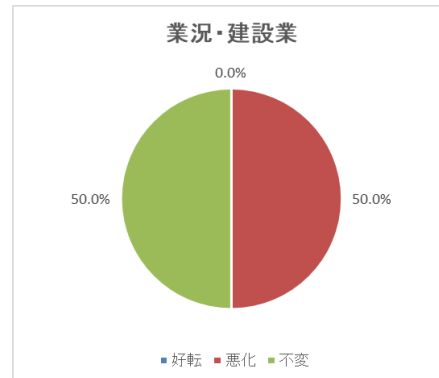
- ・「既存の会社からの受注が減少した」

【鉄鋼業】

- ・「前期より物件が減少し、売上も減少したが粗利益は横ばい」

- ② 建設業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値▲50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、  
悪化したと回答した事業所は50.0%、  
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。



来期見通しのD I 値は、▲25.0ポイントで、悪化の見通しとなっている。

○主な意見

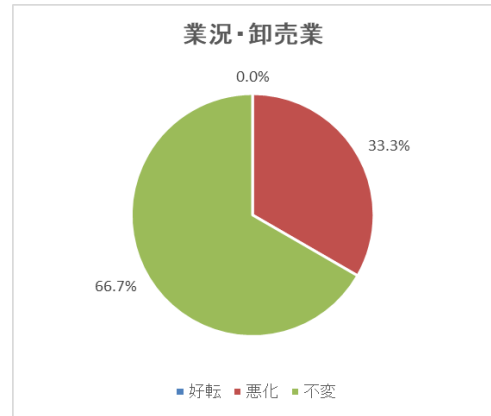
【一般土木工事業】

- ・「建設業個人依頼が減ったよう、入札が少ない、修繕案件も減少、物価高、防除作業は変動していない。」

③ 卸売業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、  
悪化したと回答した事業所が33.3%、  
変わらないと回答した事業所が66.7%  
だった。

来期の見通しD I 値は▲33.3ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【文房具・事務用品業】

・「この時期の売り上げは物件のあるなしで大きく変わるので、毎年同じような売り上げを確保するのはなかなか難しいです。」

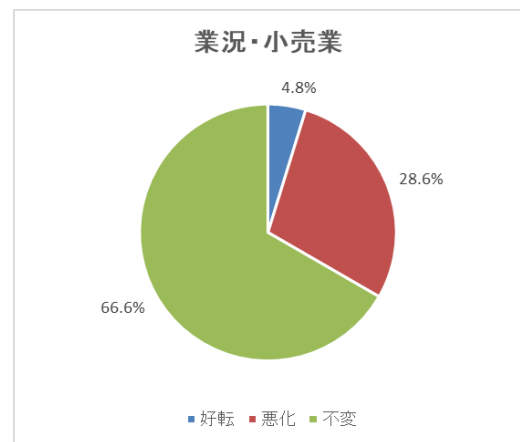
【建材卸売】

・「建設業界は変わらず減少状況、県北では特に減少。」

④ 小売業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲28.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は4.8%、  
悪化したと回答した事業所は28.6%、  
変わらないと回答した事業所は66.6%だった。

来期の見通しD I 値は、▲28.6ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車小売業】

・「今年も厳しい年になると思います。円安、物価高が続き、まだまだ不景気になり、消費が拡大しない事に尽きると思っています。」

【飲食店】

・「養殖系の魚が仕入れ値が上がってる。」

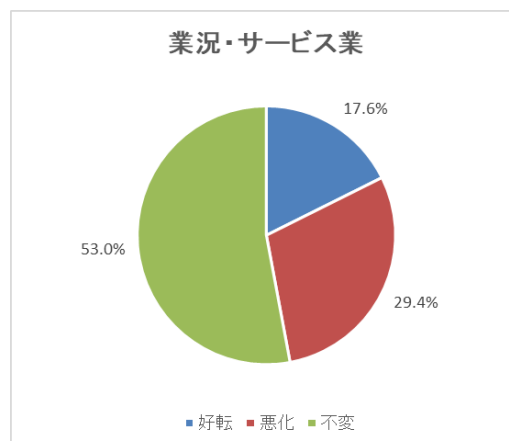
【家電製品小売】

・「後継者のサポートにより売上増加。それにより人件費も増加し業況は不変」

⑤ サービス業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲11.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は17.6%、  
悪化したと回答した事業所は29.4%、  
変わらないと回答した事業所は53.0%だった。

来期見通しD I 値は、▲29.4ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。



#### ○主な意見

##### 【衣服裁縫修理業】

- ・「R6年と比べてR7,R8は職人の減少(8名)のため、仕事があっても受けができない(仕上がりが遅くなるため)」

##### 【整体業】

- ・「当店では、設備の交換費用が重なり、必要経費が増加しております。あわせて人手不足の影響で稼働枠を十分に確保できず、売上の伸びが限定的となっております。業界全体でも、物価上昇による運営コスト増や人材確保難が続いており、消費者の節約志向も見られることから、業況はなかなか厳しいです。」

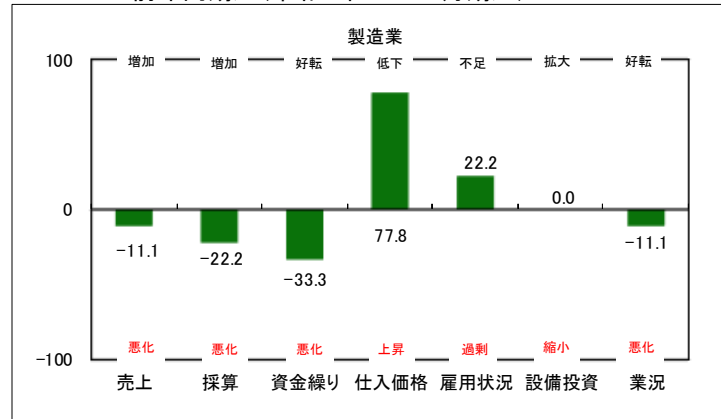
##### 【クリーニング業】

- ・「通常この時期は繁忙期であるがそれほどなかった。」

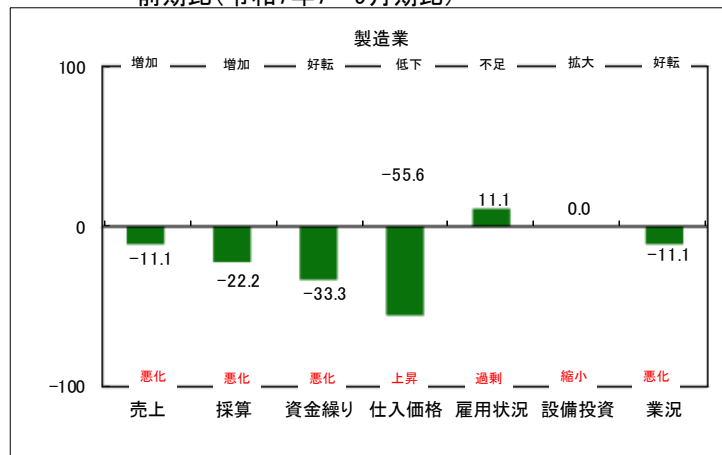
## 業種別景気動向

### 製造業

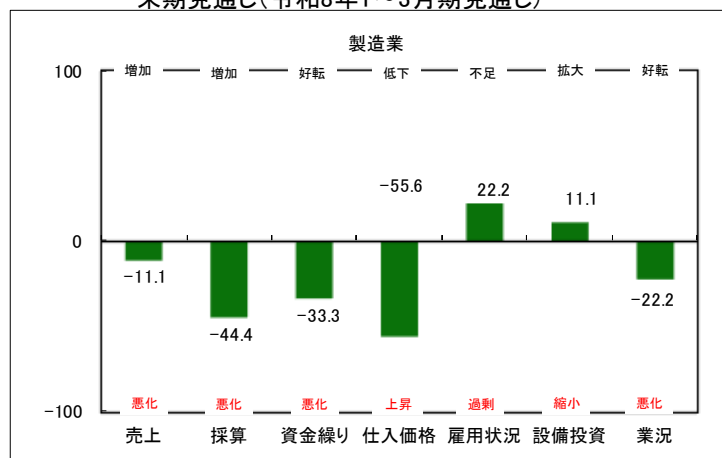
前年同期比(令和6年10~12月期比)



前期比(令和7年7~9月期比)



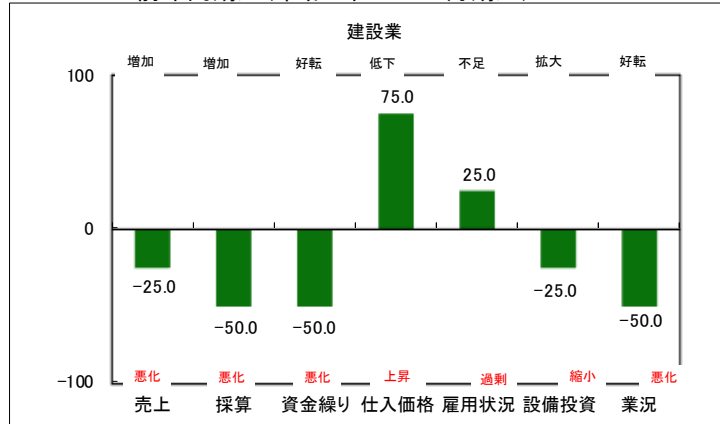
来期見通し(令和8年1~3月期見通し)



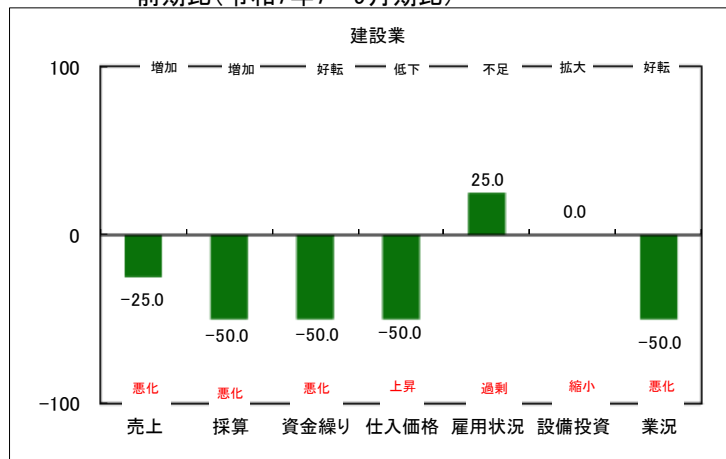
## 業種別景気動向

### 建設業

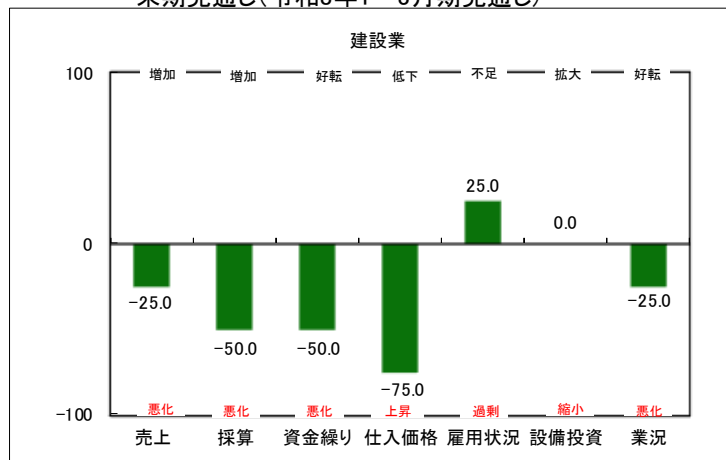
前年同期比(令和6年10~12月期比)



前期比(令和7年7~9月期比)



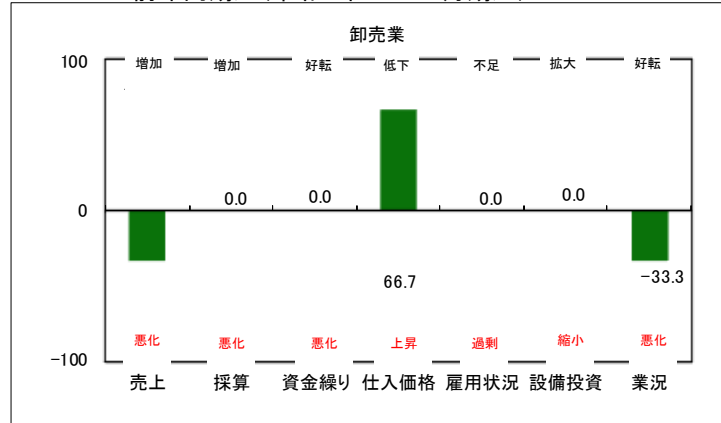
来期見通し(令和8年1~3月期見通し)



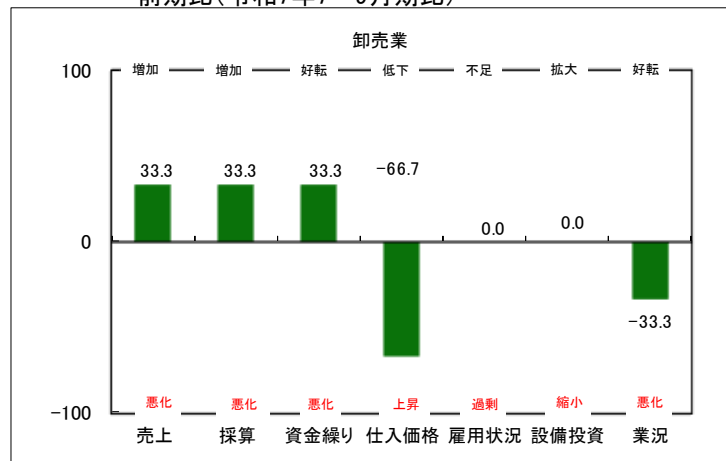
## 業種別景気動向

### 卸売業

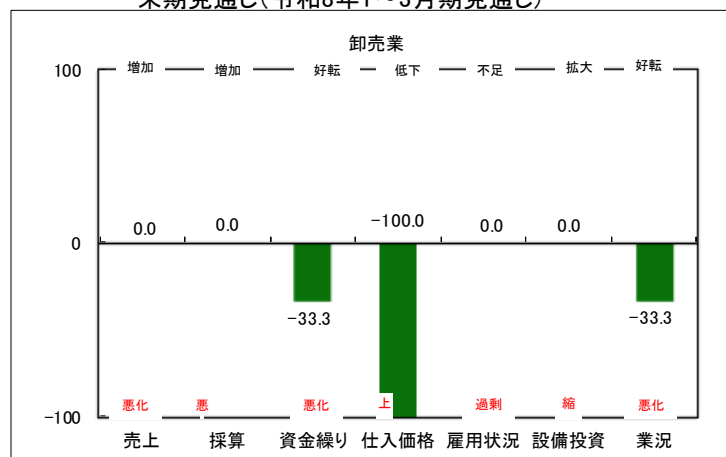
前年同期比(令和6年10~12月期比)



前期比(令和7年7~9月期比)



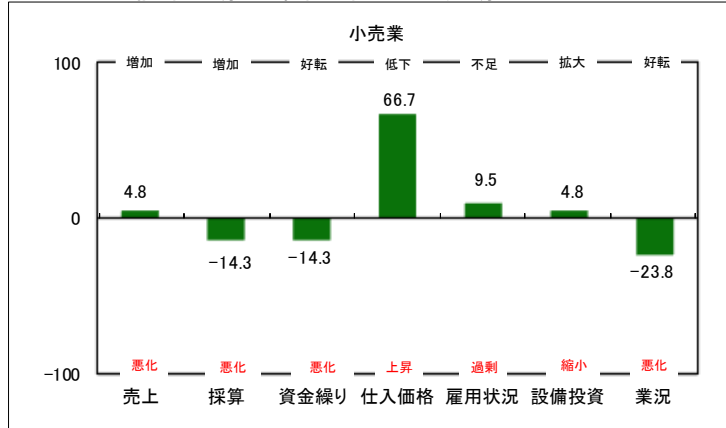
来期見通し(令和8年1~3月期見通し)



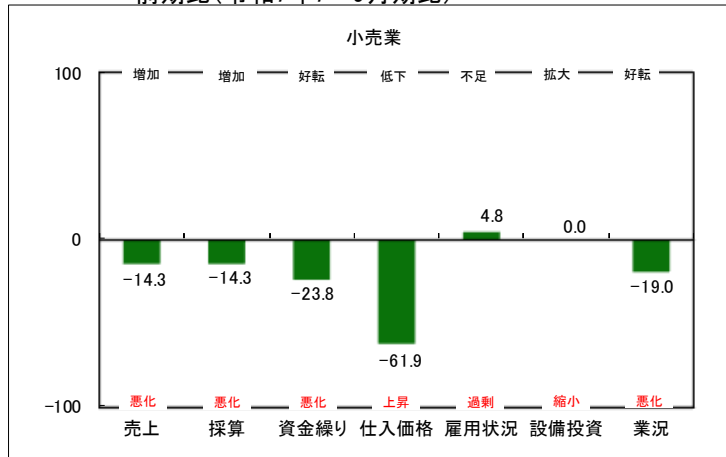
## 業種別景気動向

### 小売業

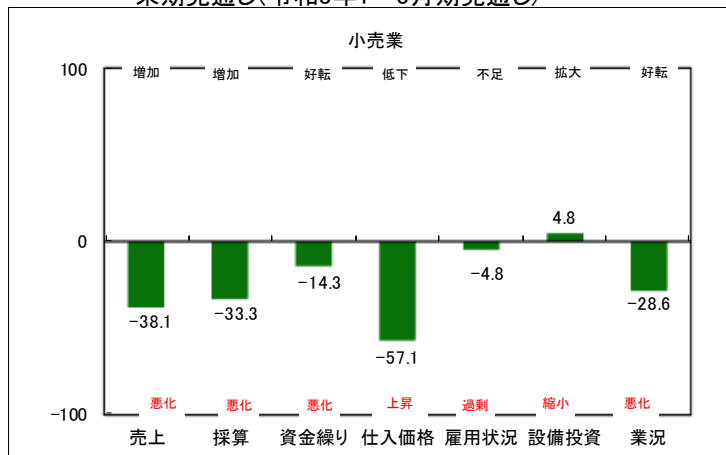
前年同期比(令和6年10~12月期比)



前期比(令和7年7~9月期比)



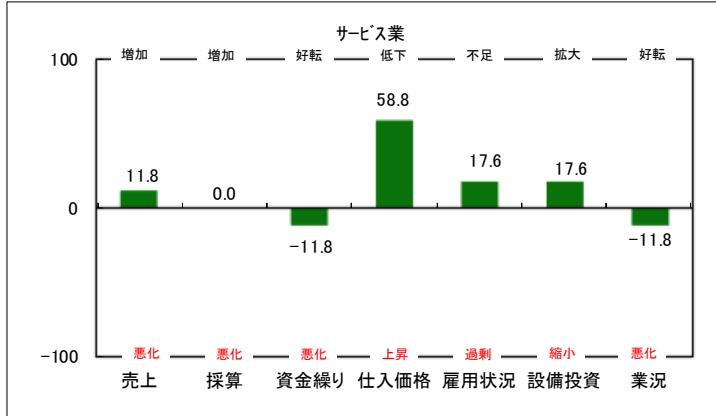
来期見通し(令和8年1~3月期見通し)



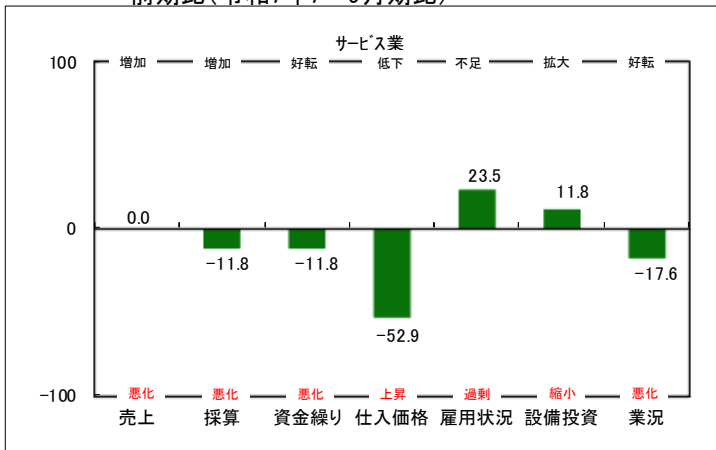
## 業種別景気動向

### サービス業

前年同期比(令和6年10~12月期比)



前期比(令和7年7~9月期比)



来期見通し(令和8年1~3月期見通し)

